

令和5年度第1回上越市文化財調査審議会次第

日時：令和5年10月27日（金）午前10時00分～
場所：上越市教育プラザ 研修棟 小会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 委員長あいさつ

4 議事（委員長）

（1）令和5年度文化行政課事業概要について（報告）

資料1

（2）上越市文化財の今後の指定について（審議）

資料2

5 閉会

令和5年度 文化行政課事業概要について

別添資料のとおり

※令和5年第1回（3月）上越市議会定例会文教経済常任委員会資料

- ① 歴史文化推進費
- ② 春日山城跡保存整備事業
- ③ 市内遺跡発掘調査事業
- ④ ほ場整備等遺跡発掘調査事業
- ⑤ 埋蔵文化財センター管理運営費
- ⑥ 「弥生のムラ」コミュニティパーク事業
- ⑦ 歴史的建造物等整備支援事業

歳出科目 (P328～P329)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史文化推進費	18,699	8,442	10,257

主な財源		主な経費	
諸収入	2,086	報酬	1,991
一般財源	16,613	旅費	783
		需用費	2,488
		委託料	1,829
		負担金補助及び交付金	10,674

【目的】

県内最多を誇る373件の指定文化財を始めとした当市の歴史・文化的資源を次世代へ継承するため、新たな文化財の指定や上越市「地域の宝」認定制度の運用などにより、文化財の適切な保護を図り、活用を促進する。

【実施内容】

- ・文化財調査審議会の開催
- ・文化財等の調査及び関連資料の収集
- ・指定文化財の管理、保存団体への補助
- ・市所有史跡の草刈り、遊歩道整備等の実施
- ・上越市「地域の宝」の次世代への継承に必要な助言、情報発信、活動団体同士のネットワークづくりの下支え

[新]・上越市「地域の宝」ガイドブックの作成

- ・北前船日本遺産に関連したまちあるき、北前船・寄港地直江津の歴史文化に関するパネル展、パンフレットの改訂等

[新]・北前船カードラリーの実施

- ・北前船日本遺産推進協議会事業
- ・北前船寄港地フォーラムへの参加（開催地：岡山県岡山市等）
- ・御城印頒布による城跡の魅力発信及び周遊の促進

(参考) 文化財指定件数 373件

種別	建造物	絵画	彫刻	工芸品	書跡・典籍	古文書	考古資料	歴史資料	無形文化財	民俗文化財	史跡・名勝	天然記念物	計
国	1	0	4	0	0	0	0	0	0	1	4	1	11
県	1	2	8	8	6	0	5	1	0	1	4	3	39
市	13	16	58	10	13	30	50	41	0	39	26	27	323
計	15	18	70	18	19	30	55	42	0	41	34	31	373

- ・国登録有形文化財（建造物）件数 42件
- ・上越市「地域の宝」件数 118件

※上記件数は全て令和5年1月末現在

[新]○地域独自の予算事業 8,840

・地域の名所巡りと次世代啓発事業（高田区）（530）

地域の歴史、名所等を次世代へ伝承し、地域観光の推進、歴史保存や地域愛護の市民意識高揚を図るため、南本町小学校区内の400年以上の歴史がある名所や文化財等の名所巡りを行うとともに、学習用資料として名所ビデオを制作する。

実施主体：南本町小学校区まちづくり協議会

・見る・知る・伝える「甞れ高田城」郷土史家 植木宏氏と巡る 城下町高田の紹介発信事業（高田区）（1,959）

高田城の素晴らしさを市民が再認識し、高田城や高田城址公園が更に多くの人から愛されること等を目的に、城下町高田の旧町名ガイドブックを制作し、城下町の現地見学を行い、その記録動画を作成するとともに、パネル展示を含む動画発表会を行う。

実施主体：高田城復元ネットワーク

・松平忠輝公と五郎八姫の会事業（高田区）（66）

歴史・文化の保全に役立たせるとともに、城下町高田の魅力を高め、賑わいと元気が出るまちづくりに寄与するため、高田の基礎を築いた松平忠輝公と五郎八姫の功績に関するパネル展示、紙芝居、現地学習等を行う。

実施主体：松平忠輝公と五郎八姫の会

・三郷地区の歴史・史跡を研究する事業（三郷区）（291）

三郷地区の歴史・史跡を学ぶ機会をつくり、歴史資源をいかした地域づくりにつなげるため、越後国分寺推定地と伝えられる場所の地中探査、ジオラマ制作を行う。

実施主体：三郷地区の歴史・史跡を研究する会

・郷土芸能無形文化財「春駒」の伝承事業（三郷区）（889）

三郷区の無形文化財「春駒」を郷土芸能として伝承するため、踊りと歌を覚えるための教材としての音楽CDの作成、民謡踊りの教室の開催及び市内の他の春駒伝承団体等と交流する「(仮)春駒のつどい」を開催する。

実施主体：三郷まちづくり振興会

・今泉城跡の大ケヤキ保護活用事業（和田区）（297）

上越妙高駅周辺地域の歴史的文化的資産を保護・活用し、地域住民の意識高揚、誇りや一体感の醸成を図るとともに、賑わいや交流の促進に寄与するよう、上越市「地域の宝」に認定されている今泉城跡の大ケヤキの環境整備、美化活動等を行う。

実施主体：上越妙高駅と共に歩む会

・地域の宝 稲谷【だんとうの大杉】保存事業（高土区）（760）

歴史継承の大切さを学ぶとともに住民間の交流を図るため、大杉の現地見学会や勉強会、および保存活動を行う。

実施主体：稲谷【だんとうの大杉】保存会

・青野「剣の舞」復活事業（保倉区）（85）

青野地区の郷土芸能「剣の舞」を復活・伝承し、地域住民の親睦と地域活性化を図るため、講話や練習風景等の記録及び地域の子どもたちへの指導など伝承・保存活動を行う。

実施主体：青野芸能保存会

・城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業（谷浜・桑取区）（1,275）

谷浜地域の歴史遺産、観光資源として城ヶ峰砦・長浜砦を継承・PRするため、両砦周辺の散策道整備や案内看板の設置、草刈り等を行うほか、地域住民を対象としたウォーキングを開催する。

実施主体：谷浜地域づくり協議会

- ・里神楽伝承による地域の元気創造事業（谷浜・桑取区）（543）

地域への愛着と誇りの醸成を図るとともに地域を担う人材の育成・確保につなげるため、地域の伝統芸能である桑谷地区の里神楽を継承していけるよう、子どもたちが大人の演者と同じ舞台上で舞を披露する。

実施主体：桑谷里神楽伝承会
- ・宮口古墳公園・遊歩道維持管理事業（牧区）（385）

宮口古墳公園を活用し交流人口の拡大を図るほか、幅広い世代の憩いの場となることを目的に、花壇等の植栽やイベントを始め、丘陵部にある古墳群の周遊を図る遊歩道等の維持管理を行い、古墳群、資料館への誘客を促進する。

実施主体：市（提案団体：宮口古墳花の会）
- ・郷土芸能伝承・保存事業（牧区）（242）

古くから伝えられてきた郷土芸能（盆踊りの古代詞、ヨイヤナ等）を次世代へ継承することで地域への愛着を高めるための伝承活動と合わせ、記録保存活動に取り組む。

実施主体：牧文化協会
- ・長峰城址保存活用事業（吉川区）（1,116）

長峰城の保護保存に寄与するとともに、遺跡（文化財）を活用することにより、地域の歴史等についての理解の深まりや地域の連帯感醸成を図るため、広報啓発活動や見学コースの整備、見学会の開催などを行う。

実施主体：越後長峰城保存会
- ・「縄文の郷 中郷」の具現化事業（中郷区）（402）

「縄文の郷 中郷」の具現化とPR、地域の魅力向上、次世代指導者の育成を図るため、竪穴式住居の学習や復元作業を支援するとともに、公民館講座を開催する。

実施主体：縄文学校、市（提案団体：縄文学校）

歳出科目 (P328～P331)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
春日山城跡保存整備事業	20,234	13,229	7,005

主な財源		主な経費	
繰入金	3,830	報酬	574
一般財源	16,404	需用費	1,228
		委託料	9,948
		使用料及び賃借料	456
		工事請負費	7,229
		原材料費	693

【目的】

春日山城跡を風雨等による損傷から守り、適切な維持管理を行うとともに、地域学習の教材として利活用を図る。

【5年度目標】

- ・土砂崩落や倒木、鳥獣被害等による遺構損傷を防ぎ、城跡の保護を図る。
- ・土の一袋運動等、市民協働で城跡保全を図る。
- ・曲輪や空堀、土塁など山城の特徴を体感できるよう修景を図る。
- ・春日山城跡ものがたり館入館者数：27,000人
(令和2年度：16,475人、令和3年度：16,903人、令和4年度見込み：26,300人)

【実施内容】

- ・降雨時の状況把握などの日常点検のほか、遊歩道・法面等の修繕、低木伐採及び下草刈りを行う。
- ・植生管理や適切な雨水管理、鳥獣被害対策等について、専門家（植生・土木・災害復興科学）の指導を受けるとともに、関係課と連携を図り、城跡の保存・修景に取り組む。
- ・市民団体や地元小中学校との協働による土の一袋運動や、草刈り・松葉かきなどの美化活動等に取り組む。
- ・城跡の散策や保全活動を行う講座（年3回）を開催する。
- ・地元管理組合に春日山城史跡広場及び春日山城跡ものがたり館等の管理を委託する。
委託先：春日山城史跡広場管理組合
(地元5町内〔大豆、春日、中門前、谷愛宕、春日野〕で組織)
内容：史跡広場及び史跡保存用地の草刈り、修繕（広場内の腐食した杭・木柵等の交換）、施設管理（受付、案内、清掃業務）、大手道の維持管理等
- ・カキツバタ（大手道入口、監物堀）の維持管理、春日山城史跡広場の復元した土塁の修繕、春日山城跡ものがたり館の屋根修繕などを実施する。
- ・「日本100名城」スタンプラリーを実施する。

歳出科目 (P330～P331)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
市内遺跡発掘調査事業	18,638	13,131	5,507

主な財源		主な経費	
国庫支出金	9,223	報酬	3,857
県支出金	1,258	委託料	4,006
一般財源	8,157	共済費	205
		需用費	956
		使用料及び賃借料	8,762
		原材料費	581

【目的】

各種開発事業から遺跡を保護するため、発掘調査を行い、開発事業との円滑な調整を図る。

【実施内容】

(1) 事業主体から依頼を受けた次の10地区等について、発掘調査を実施する。

調査種別	No.	開発事業名	地区名	工事計画面積 (調査対象面積 ha)
試掘・確認 調査	①	県営ほ場整備	中江有田地区	12.1
	②		石沢地区	15.4
	③		島田地区	30.5
	④		吉川区原之町地区	5.7
	⑤		三郷地区	21.3
	⑥		和田北部地区	10.3
	⑦		青野地区	19.0
	⑧		大和地区	5.6
	⑨	都市計画道路建設	黒井藤野新田線	1.1
本発掘調査	⑩	県営ほ場整備	和田北部地区	0.2
合計				121.2

※ 県営ほ場整備事業に係る本発掘調査(⑩)に要する経費のうち、「農家負担分」を本事業から支出する。

(2) 発掘調査報告書作成

『市内遺跡発掘調査概要報告書』の刊行
各種開発事業に伴う調査結果を概要報告書として公開する。

(参考)

- ・試掘調査：地表面の観察等からでは判断できない場合に行う埋蔵文化財の有無を確認するための部分的な発掘調査
- ・確認調査：周知の埋蔵文化財包蔵地の範囲、性格、内容等の概要までを把握するための部分的な発掘調査
- ・本発掘調査：開発などで埋蔵文化財が失われる範囲について、その内容など詳細を記録保存するための発掘調査

歳出科目 (P330～P331)	10款5項6目	文化財保存調査費
------------------	---------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ほ場整備等遺跡発掘調査事業	181,029	179,567	1,462

主な財源		主な経費	
県支出金	181,023	報酬	4,483
一般財源	6	旅費	348
		職員手当等	1,056
		需用費	4,794
		委託料	169,245
		共済費	1,091

【目的】

県営ほ場整備事業等の開発事業地内において遺跡の発掘調査を行い記録保存する。

【実施内容】

(1) 本発掘調査

調査原因：県営ほ場整備事業

遺跡名	種別	所在地	時代	調査面積
岡原遺跡群	散布地	和田北部地区	古代	2,000 m ²

※ 上記に要する経費のうち、「農家負担分」を除いた経費を本事業から支出する。

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

遺跡名	種別	所在地	時代	調査面積
神田茨山窯跡	窯跡	三和区神田	古代	2,900 m ²

調査原因：県営農村地域減災防災事業

遺跡名	種別	所在地	時代	調査面積
天源寺遺跡	遺物包含地	板倉区針	中世	1,450 m ²

(2) 発掘調査報告書作成（整理作業）

作業内容：発掘調査に伴う出土品の水洗などの整理作業、発掘調査報告書の作成

調査原因：上越魚沼地域振興快速道路建設

作業内容	遺跡名	種別	所在地	時代	調査年度
報告書作成	神田原山窯跡	窯跡	三和区神田	古代	令和元年
報告書作成	原山遺跡	集落跡	三和区神田	縄文	令和2年
整理作業	蓮花寺五輪塔群 ・立場遺跡	石塔・ 遺物包含地	三和区末野	古代・中 世	令和4年

歳出科目 (P 330～P 331)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
--------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
埋蔵文化財センター管理運営費	15,496	12,480	3,016

主な財源		主な経費			
使用料及び手数料	8	報酬	4,444	委託料	2,463
財産収入	18	職員手当等	614	使用料及び賃借料	499
一般財源	15,470	需用費	5,964	工事請負費	484

【目的】

埋蔵文化財の保護のため、調査研究・保存管理・普及公開を行うとともに、小中学校の総合的な学習の時間や春日山城跡・春日山城跡ものがたり館などを結ぶ歴史巡りのルートとして利活用を図り、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。

【5年度目標】

入館者数：27,000人

(令和2年度：20,298人、令和3年度：23,051人、令和4年度見込み：25,000人)

【実施内容】

(1) 調査研究

- ・遺跡の発掘調査成果を記録として保存する。
- ・出土品等に関する情報収集や資料調査などを行う。
- ・発掘調査の成果を報告書等にまとめ、公開する。

(2) 保存管理

発掘調査で収集した出土品等を整理（水洗、注記、接合、復元、写真撮影、図化など）し、適切に保存するとともに、資料の公開・活用ができるよう管理する。

(3) 普及公開

- ・主に縄文時代から戦国時代の出土品を用いた通史的な展示のほか、ヒスイの「県の石」指定を記念し、遺跡から出土したヒスイ製品の展示や、上杉謙信公や春日山城跡に関する資料等の展示により、郷土の歴史に関する理解を深めてもらう。
- ・各地の博物館、資料館等に資料を貸し出すことで、広く市外での公開にも努める。
- ・収集した図書、発掘調査報告書、各種関連資料を公開し、市民の利用に供する。
- ・学校教育との連携を図り、小中学生の利用を促進するほか、生涯学習の場として活用を図る。

(4) 維持管理

新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目 (P330～P333)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
「弥生のムラ」コミュニティパーク事業	46,506	18,127	28,379

主な財源		主な経費	
国庫支出金	20,363	報酬	4,674
諸収入	140	職員手当等	891
市債	4,500	共済費	952
一般財源	21,503	需用費	2,761
		委託料	9,204
		公有財産購入費	25,454

【目的】

北陸新幹線上越妙高駅に近接する国指定史跡吹上遺跡・釜蓋遺跡の保存・活用を図る。

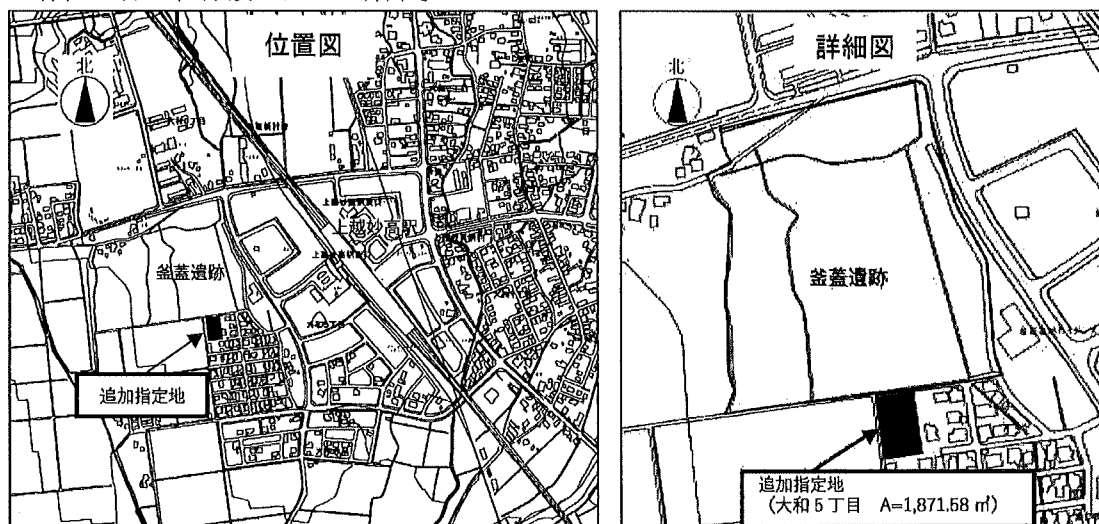
【5年度目標】

- ・歴史講座等の実施により、市民に郷土への関心や理解を深めてもらう。
- ・釜蓋遺跡ガイダンス入館者数：13,000人
(令和2年度：8,934人、令和3年度：8,973人、令和4年度見込み：12,000人)

【実施内容】

(1) 保存

釜蓋遺跡隣接地の一部が令和4年11月国史跡に追加指定されたことから、土地の公有化を行い、保護に万全を期す。



(2) 活用

- ・各区出土品の展示・解説や、初心者向けの講座、体験を取り入れた講座などを「じょうえつ歴史講座」として実施し、上越の歴史文化の魅力を発信する。
- ・小学校の総合的な学習の時間や歴史学習の場として施設を活用する。
- ・勾玉や土器づくり等に加え、釜蓋遺跡発掘調査で採取した土を水洗いし、石器などの細かな出土品を探す体験活動を実施し、釜蓋遺跡の新たな魅力を発信する。
- ・吹上・釜蓋遺跡応援団との連携による体験活動や、「吹上・釜蓋遺跡まつり」などのイベントを実施する。
- ・釜蓋遺跡公園を外部団体のイベントや屋外ローカル5Gラボとしての利活用に供する。

(3) 維持管理

- ・吹上遺跡及び釜蓋遺跡の草刈りなど史跡の適切な維持管理を行う。
- ・釜蓋遺跡ガイダンスについて、新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、来館者が安全安心に利用できるよう、適切な管理運営を行う。

【施設の概要】

開館時間	午前9時～午後5時
休館日	火曜日（休日の場合は翌日）、12月29日～翌年1月3日
観覧料	無料

歳出科目 (P332～P333)	10 款 5 項 6 目	文化財保存調査費
------------------	--------------	----------

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
歴史的建造物等整備支援事業	12,803	12,723	80

主な財源		主な経費	
財産収入	1	報償費	50
繰入金	12,718	旅費	34
一般財源	84	負担金補助及び交付金	12,718
		積立金	1

【目的】

市民団体等が行う歴史的建造物等の整備に対し、補助金を交付することにより、歴史的建造物等の保存と活用を図る。

【5年度目標】

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付件数：3件
(林富永邸、浄福寺本堂、高野醤油味噌醸造店)

【実施内容】

- ・対象事業 歴史的建造物及び産業遺産の保存又は改修に係る事業で、主体的なまちづくり活動による地域コミュニティの形成に資するもの
- ・補助率 3/4 (限度額 7,500 千円)
- ・財源 歴史的建造物等整備支援基金
- ・認定 建築や歴史の専門家で構成する選定審査会の答申を経て、実施事業を認定
- ・交付決定 認定後、交付申請に基づき補助金の交付を決定

<これまでの補助金の交付状況(令和4年度は交付見込み)>

年度	件数	支援対象	金額
平成 21 年度	3 件	高田世界館、林富永邸、旧頸城鉄道百間町駅構内線路	14,502
平成 22 年度	3 件	林富永邸、平出修旧居、旧川上小学校体育館	18,178
平成 23 年度	1 件	飯田邸	1,579
平成 24 年度	1 件	飯田邸	5,921
平成 26 年度	3 件	旧頸城鉄道本社社屋、岩の原葡萄園石蔵、麻屋高野	16,855
平成 27 年度	2 件	麻屋高野、高田世界館	8,337
平成 28 年度	2 件	林富永邸、高田世界館	5,477
平成 29 年度	3 件	林富永邸、高田世界館、料亭宇喜世	14,323
平成 30 年度	2 件	白田邸、二本木駅	14,587
令和元年度	2 件	鴨井邸、飯田邸	8,369
令和 2 年度	2 件	鴨井邸、善徳寺経堂	8,354
令和 3 年度	1 件	麻屋高野	4,265
令和 4 年度	2 件	旧頸城鉄道機関庫、楞嚴寺山門	12,048
合計	27 件		132,795

※ 平成 25 年度は実績なし